

フィリア・レター

～真の友人からの手紙～



発行：中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明 1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.rofuku.go.jp/>



「和」と「輪」

院長 加藤 文彦

新年あけましておめでとうございます。皆様には穏やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、去年は有名な大企業の不祥事が続きました。前半では大手電機メーカーが社長3代にわたって粉飾決算を行ったこととか、世界的大手エアバッグ・メーカーの製品不具合(爆発)が話題となりました。後半では大手建設業者及び化学製品メーカーによる建築物の杭打ち工事データが捏造されており、マンションが傾いたことが話題となりました。今や「メイド・イン・ジャパン」は高品質の代名詞かと思うのですが、どうしたことでしょうか？

日本は昔から「和」の世界と言われます。有名な聖徳太子の17条憲法の第1条が「和を以て貴しとなす」です。「和」とはパツと見た目には争い事を避ける、あるいは嫌う、心地よい言葉のように見えます。しかし、ここで注意しなければならないことが日本の歴史や文化を顧みると浮かんできま

す。すなわち、「和」が「輪」と同一化されている事例が多々あります。この「輪」とは2014年まで放送されていた「笑っていいとも」の「テレフォン・ショッキング」で使われていた「友達の輪」という言葉をイメージして戴くのが良いかと考えます。そして、自分がどれくらいの大きさの「和(輪)」の中にいるか…という事を常に心しておくべきかと考えます。家族や友人など少人数の「和(輪)」の中？会社や同業者の「和(輪)」の中？その「輪」の中で「和」が保たれていても、「輪」の外から見たら非常識や、違法なこととなっているかもしれません。前述の大企業不祥事は会社の一部職員の「和(輪)」からの産物なのではないでしょうか？すなわち、「赤信号、みんなで渡ればこわくない」です。

世の中には皆で守るべきものとして、法や規則があります。これにて、大きな「和」が保たれるようになっていきます。当院の職員もこの大きな「和」の中で、皆様との身近な「和」に心掛けますので、本年も宜しくお願い申し上げます。

今月号のお知らせ

- ①「和」と「輪」
.....院長 加藤 文彦
- ②春に向けての対策
.....耳鼻咽喉科医師 中村 紗矢香
- ③臨床検査技師の仕事
.....中央検査部長 三宅 俊宏

- ④認定看護師紹介
.....集中ケア認定看護師 杉谷 恵里
- ⑤第10回 市民健康セミナーを終えて
.....形成外科医師 宮田 知里
- ⑥研修センター通信
- ⑥クリスマスコンサート 第2回糖尿病週間イベント
- ⑥当院の理念・当院の基本方針